

Dell 27 モニター - P2721Q

Dellディスプレイマネージャー
ユーザーガイド



モデル: P2721Q
規制モデル: P2721Qf

 **注記:**注記は、コンピュータをより効果的に使用するために役立つ重要な情報を示します。

 **注意:**注意は、指示に従わない場合、ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示しています。

 **危険:**危険は、物的損害、人身傷害、または死亡の可能性を示します。

Copyright © 2020 Dell Inc. およびその子会社。無断転用禁止。Dell、EMCおよびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。他の商標は、それぞれの所有者の商標です。

2020 - 09

Rev. A00

内容

概要	4
クイック設定ダイアログの使用	5
ベーシックディスプレイ機能の設定	6
アプリケーションへのプリセットモードの割り当て	7
簡単アレンジでWindowsを整理する	8
複数ビデオ入力の管理	10
アプリケーションポジションの復元	12
アクティブウィンドウにDDMをアタッチする (Windows 10のみ)	14
省エネルギー機能の適用	15
その他のショートカットキー	15
トラブルシューティング	16



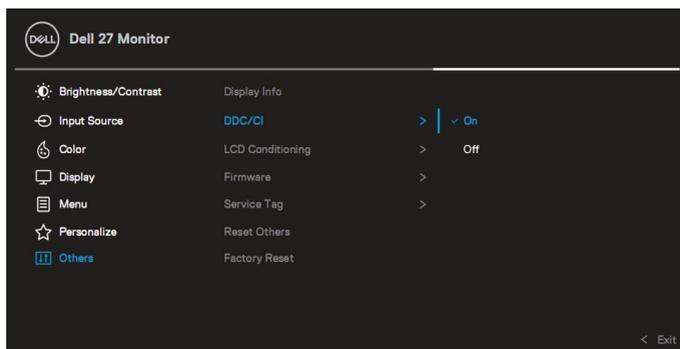
概要

Dell ディスプレイマネージャー (DDM) は、モニターまたはモニターグループを管理するために使用する Microsoft Windows アプリケーションです。Dell ディスプレイマネージャーにより、一部の Dell 製モニターで、表示画像の手動調整、自動設定の割り当て、エネルギー管理、ウィンドウ整理、画像回転などを実行することができます。Dell ディスプレイマネージャーをインストールすると、システムが起動するたびに実行され、そのアイコンが通知トレイに配置されます。システムに接続されているモニターの情報は、通知トレイのアイコンにカーソルを合わせると表示されます。



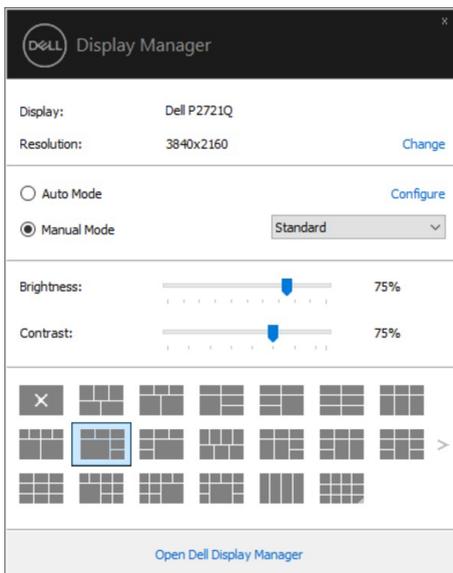
または、デスクトップの背景を右クリックし、デスクトップメニューから Dell ディスプレイマネージャーを選択して起動させることもできます。

注意: Dell ディスプレイマネージャーは、DDC/CI チャンネルを使用してモニターと通信します。以下のメニューで、DDC/CI が有効になっていることを確認してください。



クイック設定ダイアログの使用

Dell ディスプレイマネージャーの通知トレイアイコンをクリックすると、**クイック設定** ダイアログボックスが表示されます。複数の Dell モニターがコンピュータに接続されている場合、メニューにおいて特定のモニターを選択します。**クイック設定** ダイアログボックスでは、輝度、コントラスト、解像度、ウィンドウレイアウトなどを簡単に調整することができます。**手動モード** または **自動モード** を選択でき、画面の解像度を変更することができます。



クイック設定 ダイアログボックスでは、基本機能の調整、自動モードの構成、およびその他の機能へのアクセスに使用する Dell Display Manager の高度なユーザーインターフェイスにもアクセスできます。

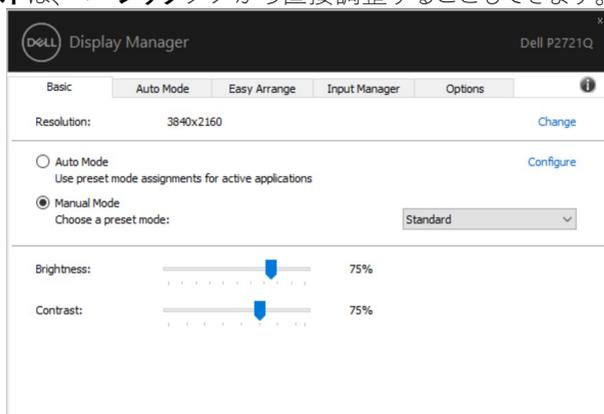


注記:

特徴	機能	説明
クイックDDM アクセス	DDM UIを呼び 出すためのクイ ックキー	<ul style="list-style-type: none">• Ctrl+Shift+D• ページアップ/ページダウンキーで、または「>」をクリックすることで、すべての簡単アレンジレイアウトをフリップします。
	マルチモニター 設定で個別モニ ターをコントロ ール	<ul style="list-style-type: none">• ドロップダウンボックスからモニターを選択すると、選択したモニターにDellのロゴが表示されます。• モニターのセルフテスト機能チェックを実行します。• DDM UI を制御するモニターに移動します。• Ctrl+Shift+Dを押すと、マウスポインタの下にminiUIが表示されます。

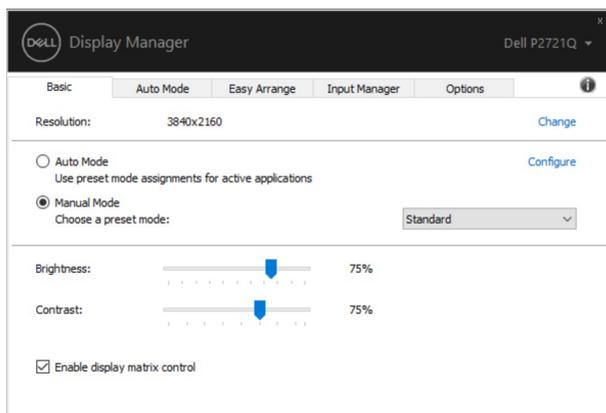
ベーシックディスプレイ機能の設定

手動でプリセットモードを選択できる**手動モード**、またはアクティブなアプリケーションに基づいてプリセットモードを適用する**自動モード**を選択します。現在のプリセットモードが変更されると、画面上にメッセージが表示されます。選択したモニターの**輝度とコントラスト**は、**ベーシック**タブから直接調整することもできます。



注記:複数のDellモニタを接続している場合、「ディスプレイマトリクス制御を有効にする」を選択して、すべてのモニターに輝度、コントラスト、カラープリセット制御を適用します。





アプリケーションへのプリセットモードの割り当て

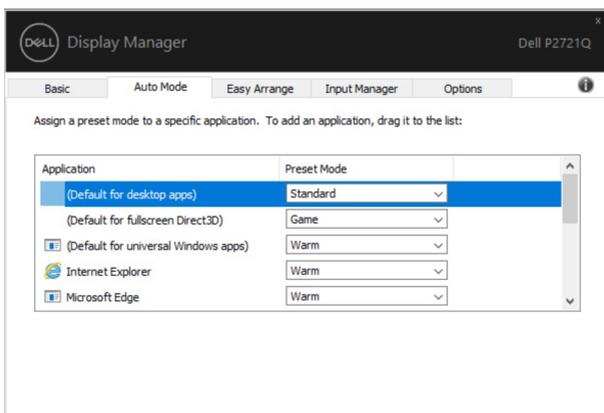
自動モードタブでは、特定の**プリセットモード**を特定のアプリケーションに関連付けることができ、自動的に適用することができます。**自動モード**が有効の場合、関連アプリケーションがアクティブになると、Dell ディスプレイマネージャーは対応する**プリセットモード**に自動的に切り替わります。特定のアプリケーションに割り当てられた**プリセットモード**は、接続されている各モニターで同一、またはモニターごとに異なる場合があります。

Dell Display Manager は多くの有名なアプリケーション用に事前設定されています。割り当てリストに新規アプリケーションを追加するには、デスクトップデスクトップ、Windows の [スタート] メニューまたは他のどこからかアプリケーションをドラッグして現在のリストの上にドロップします。

注意: バッチファイル、スクリプト、ローダー、および zip アーカイブやパックファイルなどの実行不可能なファイルに対するプリセットモードの割り当てはサポートされていません。

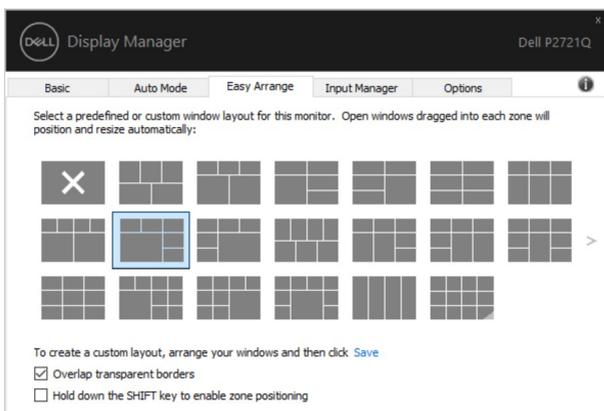
Direct3D アプリケーションがフルスクリーンモードで動作するときに使用するゲームプリセットモードを設定することができます。アプリケーションがモードを使用しないようにするには、アプリケーションに別のプリセットモードを割り当てます。





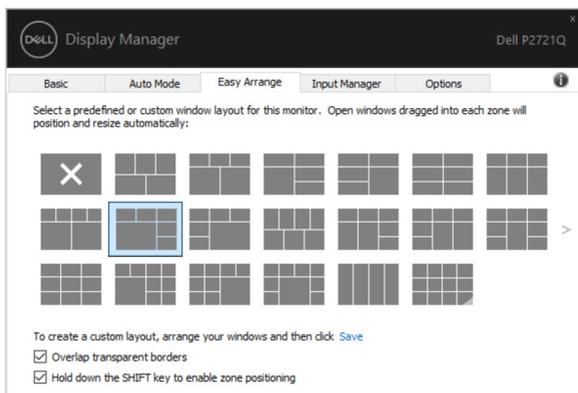
簡単アレンジで Windows を整理する

簡単アレンジは、デスクトップ上のアプリケーションウィンドウを効果的に整理するのに役立ちます。まず、作業に適するよう事前に定義したレイアウトパターンを選択し、続いて、定義したゾーンにアプリケーションウィンドウをドラッグします。「>」を押す、またはページアップ / ページダウンキーで、より多くのレイアウトを見つけます。カスタムレイアウトを作成するには、右下の小さな三角形のサムネイルを右クリックして、開いているウィンドウで行と列の数を並べ、**OK** をクリックしてお好みの配置を設定します。

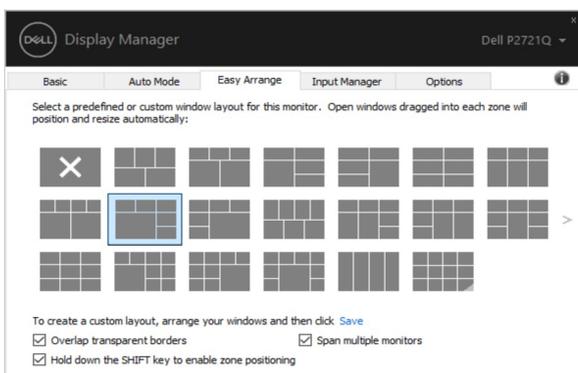


Windows 10 の場合は、仮想デスクトップごとに異なるウィンドウレイアウトを適用することができます。

Windows のスナップ機能をよく使う場合は、「**SHIFT キーを押したままゾーンの位置決めを有効にする**」を選択します。これにより、Windows は**簡単アレンジ**よりもスナップが優先されます。その後、シフトキーを押して**簡単アレンジのポジショニング**を使用します。



アレイやマトリックスで複数のモニターを使用している場合は、**簡単アレンジ**レイアウトを1つのデスクトップとしてすべてのモニターに適用することができます。この機能を有効にするには、「**複数のモニターにまたがる**」を選択します。モニターの位置合わせをきちんとしないと有効化できません。



注意: アプリケーションによっては、そのウィンドウの有効な解像度の最小値を要求するものがあります。ゾーンのサイズが必要なウィンドウサイズよりも小さい場合、アプリケーションは簡単アレンジゾーンに収まらないことがあります。



簡単アレンジの使い方には、他にも高度な方法があります。下記の表を参照してください。

特徴	機能	説明
強化された簡単アレンジ	カスタムレイアウト	<ul style="list-style-type: none"> 5つのカスタマイズされた簡単アレンジパターンを保存して名前を付けます。 x*yパターンを設定します。
	5 MRU(最も最近使用)レイアウト	<ul style="list-style-type: none"> Ctrl+Shift+Home を押して、最後の 5 つ目の MRU レイアウトを循環させます。
	オンフライでパーティションのサイズ変更	<ul style="list-style-type: none"> Ctrlキーを押しながら現在の簡単アレンジレイアウトのサイズを変更すると、レイアウト内のセルのサイズと数を調整することができます。 新しく形成された簡単アレンジパターンは、簡単アレンジアイコンの位置に保存されません。 変更したレイアウトアイコンをクリックしながら Ctrl キーを押すと、デフォルトのレイアウトに戻すことができます。
	ポートレートモードでの簡単アレンジレイアウト	<ul style="list-style-type: none"> モニターを回転させると、ポートレートモードでの簡単アレンジアイコンが表示されます。

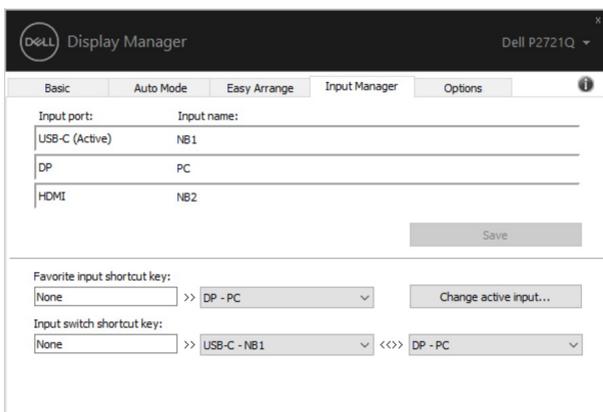
複数ビデオ入力の管理

入力マネージャータブでは、Dell モニターに接続された複数のビデオ入力を便利に管理できます。このタブにより、複数のコンピュータで作業をしながら、入力の切り替えが非常に簡単にできるようになります。

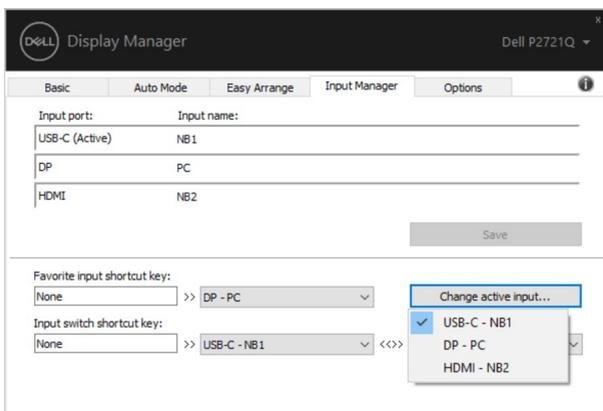
モニターで利用可能なすべてのビデオ入力ポートが一覧表示されます。各入力に希望する名前を付けることができます。編集後は、変更を保存してください。

お気に入りの入力に素早く切り替えるためにショートカットキーを定義したり、2つの入力を使って作業することが多い場合は、それらの入力間を素早く切り替えるために別なショートカットキーを定義したりすることができます。





入力ソースの切り替えにドロップダウンリストを使用することができます。

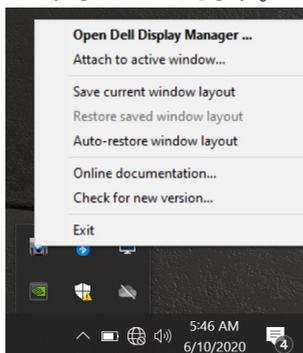


注意: DDMは、モニターが別なコンピュータからのビデオを表示している場合でも、モニターと通信します。良く使用するPCにDDMをインストールし、そのPCからの入力切替を制御することができます。また、モニターに接続される他のPCにDDMをインストールすることができます。

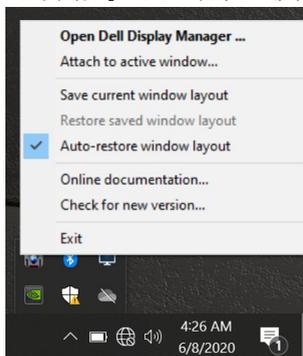


アプリケーションポジションの復元

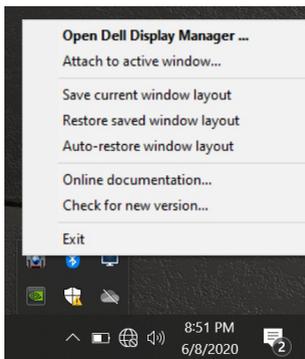
DDM は、PC をモニターに再接続した際に、アプリケーションウィンドウをそれぞれの位置に復元するのに役立ちます。通知トレイの DDM アイコンを右クリックすることで、この機能に素早くアクセスすることができます。



「**ウィンドウレイアウトの自動復元**」を選択した場合、アプリケーションウィンドウの位置は DDM によって追跡され、記憶されます。PC をモニターに再接続すると、DDM はアプリケーションウィンドウを自動的に元の位置に戻します。



アプリケーションのウィンドウを移動させた後にお気に入りのレイアウトに戻りたい場合は、まず「現在のウィンドウのレイアウトを保存」してから、「保存したウィンドウのレイアウトを復元」することができます。



日常的に異なるモデルや解像度のモニターを使用し、その上で異なるウィンドウレイアウトを適用することができます。DDM は再接続したモニターを把握し、それに応じてアプリケーションの位置を復元することができます。

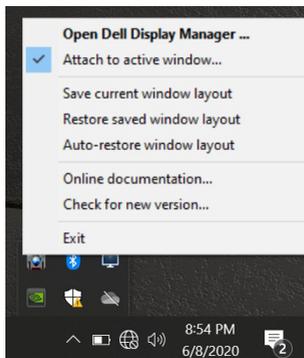
モニターマトリクス構成でモニターを交換する必要がある場合、交換前のウィンドウレイアウトを保存し、新しいモニターを設置した後にレイアウトを復元することができます。

注意: この機能の利用するには、アプリケーションを実行し続ける必要があります。DDMは、アプリケーションを起動しません。

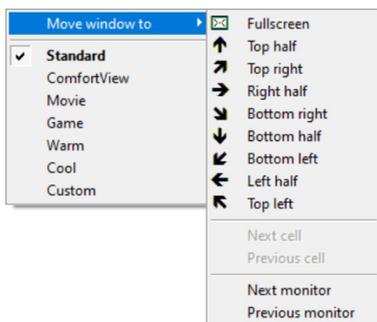


アクティブウィンドウに DDM をアタッチする (Windows 10 のみ)

Windows 10 の場合、アクティブなウィンドウのツールバー領域に DDM のショートカットアイコンを追加することができます。この機能を有効にするには、通知トレイの DDM アイコンを右クリックし、開いたメニューから「**アクティブウィンドウに添付**」を選択します。



ツールバーのアイコンを右クリックすると、DDM のクイックメニューが出現し、**自動モード**と**簡単アレンジ**のオプションが表示されるので、簡単に調整することができます。



省エネルギー機能の適用

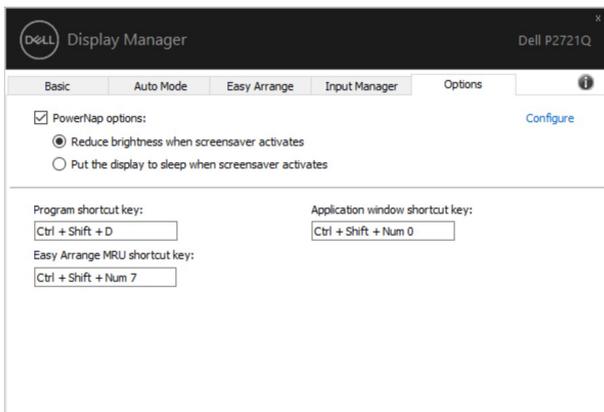
オプションタブでは、PowerNap の省エネルギーオプションを提供しており、キーボードショートカットをカスタマイズすることができます。

上部ペインでは、モニターの輝度を最小レベルに設定したり、スクリーンセーバーが起動しているときにモニターをスリープ状態にすることができます。

その他のショートカットキー

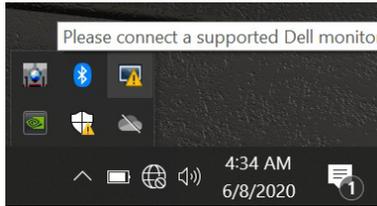
以下の DDM 機能にすばやくアクセスするためのショートカットキーを定義することができます。

- **プログラムのショートカットキー**: クイック設定ダイアログボックスをすばやく開くことができます。
- **簡単アレンジ MRU ショートカットキー**: 最近使用した 5 つのウィンドウレイアウトをすばやく適用します。
- **アプリケーションウィンドウショートカットキー**: オートモードと簡単アレンジのオプションのクイックメニューを起動します。

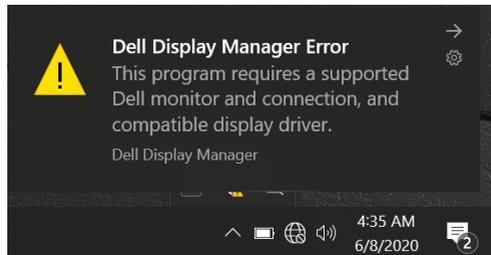


トラブルシューティング

DDM がお使いのモニターで動作しない場合は、通知トレイに以下のアイコンが表示されます。



このアイコンをクリックすると、DDM は、より詳細なエラーメッセージを表示します。



DDM は、Dell ブランドのモニターと共にものみ動作することに注意してください。他社メーカーのモニターを使用している場合、DDM はサポートしません。

DDM が、サポートされる Dell モニターを検出および / または通信できない場合は、トラブルシューティングを行うため、以下の操作を行ってください。

1. ビデオケーブルがモニターと PC に正しく接続されていることを確認し、特にコネクタはしっかりと所定の位置に挿入してください。
2. モニターの OSD をチェックし、DDC/CI が有効になっていることを確認してください。
3. グラフィックスベンダ (Intel、AMD、NVIDIA など) の正しい最新ディスプレイドライバを使用していることを確認してください。多くの場合、ディスプレイドライバが、DDM の故障を引き起こします。
4. モニターとグラフィックポートの間にあるドッキングステーション、ケーブルエクステンダー、コンバータを取り外してください。一部の低コストエクステンダー、ハブまたはコンバータは、DDC/CI を適切にサポートしておらず、DDM の障害を引き起こす可能性があります。最新バージョンが利用可能な場合、デバイスのドライバを更新してください。
5. システムを再起動します。



DDM は、以下のモニターでは動作しない可能性があります：

- 2013 年以前の Dell モニターモデルおよび Dell モニター D シリーズ。詳細情報については、Dell 製品サポート Web サイトを参照してください。
- NVIDIA の G-sync 技術を採用するゲーミングモニター
- 仮想ディスプレイおよびワイヤレスディスプレイは、DDC/CI をサポートしません
- DP 1.2 モニターの一部の初期モデルでは、モニター OSD を使用して MST/DP 1.2 を無効にする必要がある場合があります。

PC をインターネットに接続している場合、DDM アプリケーションの新しいバージョンが利用可能になったとき、メッセージがプロンプト表示されます。最新の DDM アプリケーションをダウンロード・インストールすることを推奨します。

また、「shift」キーを押しながら DDM のアイコンを右クリックして、新しいバージョンを確認することもできます。

